

たなばた がつ か よる あま がわ わた ねん いちど
七夕は、7月7日の夜に、天の川を渡って年に一度だけ

あ ゆる ひこぼし おりひめ はなし ちゅうごく
会うことを許された「彦星」と「織姫」のお話で、中国

つた ひ ねが ごと か たんざく ささ
から伝わりました。この日は、願い事を書いた短冊を笹の

は かざ つ はたお いと み た
葉に飾り付け、機織りの糸に見立てたそうめん

た しゅうかん
を食べる習慣があります。

きゅうしょく つか
給食では、うなぎを使ったちらしずしや

じる ほしがた かんてん
そうめん汁、デザートには星型の寒天とサイダー

つく
で作ったゼリーです。





うなぎちらし、^{とうがん}冬瓜のそぼろあんかけ、^{じる}そうめん汁、^{ほしさま}お星様サイダーゼリー